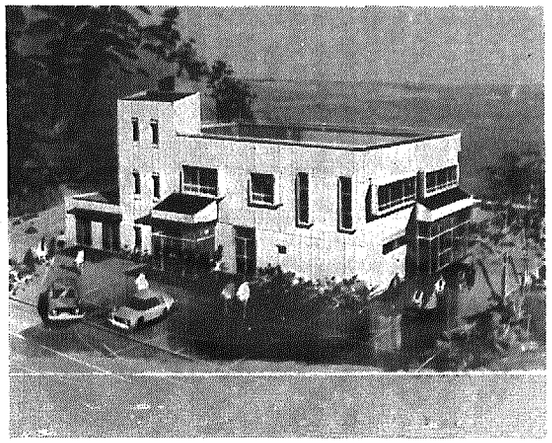
いまここまで 完成は来春に

自然休養村管理センター

七月二十四日から着手された自然休養村管理センターが、間瀬高屋駐車場内に着々と工事が進められています。

来春一月三十一日完成いたします。



工事進行状況と完成予想図

青少年非行防止

父兄の懇談会が開かれます

最近特に問題になっております高校生の非行防止のため、高校生の父兄と青少年関係者からお集りをいただき、高校生を中心とする青少年の問題行動の現状についてお互に認識を深め、地域および家庭教育上の諸問題を懇談し、高校生の健全育成、非行防止を進める目的で開かれます。

高校生の父兄の方々にはお忙しい折とは思いますが万障おさしくりの上、多数のご出席をいただきたいとお待ちしております。

・日時　十一月五日　午後一時三十分
・会場　岩室中学校
・主催　岩室村青少年問題協議会
　　岩室村教育委員会

水道工事の依頼は 村指定業者に!!

村内における水道工事は、村の条例により、すべて村水道工事指定業者が施行することになっております。

従って皆さんが水道管の引込や、補修工事をされる場合は、必ず村内業者に依頼されるようお願いします。

なお、やむを得ない事情で、他町村の業者に依頼されるときは、その業者は、あらかじめ村の許可を得て工事をしなければならないことになっておりますので、この点も併せご理解をいただき、無断工事で不正な水道工事が生じないよう格別のご協力をお願いいたします。

暖房器具や石油類の 点検をもう一度

各家庭では、これから冬を迎えるにあたって石油ストーブ、電気コタツ等の暖房器具を使用する機会が多くなります。

火災の原因の多くは暖房器具の置き場所の不適当、使用方法の誤り、可燃物等との接触など取扱者の不注意からですし、したがって暖房器具の使用に十分注意してください。

なお、暖房用の石油類を保管するときは火災に十分注意して厳重に保管するようにしてください。

一般家庭で油類を貯蔵する場合は量によって許可や届出をしなければなりません。詳しいことは消防署岩室分署におたずねください。

	許可	届出	届出の必要なし
ガソリン	一〇〇㍑以上	一〇〇㍑未満	二〇㍑以下
灯油 軽油	五〇〇㍑以上	一〇〇㍑以上五〇〇㍑未満	一〇〇㍑以下
重油	二、〇〇〇㍑以上	四〇〇〇㍑以上二、〇〇〇㍑未満	四〇〇〇㍑以下

村道工事のため 車輛の通行止め

村道の改良舗装工事のため、岩室駅～水倉前～富岡県道までの区間を交通安全確保のため車輛が通行止めになりますのでご協力ください。

なお、新潟交通の巻発和納廻り間瀬行き、間瀬発和納廻り巻行きのバスは岩室駅まで運行しませんので、旧和納郵便局前停留所（三芳屋角）に乗降ください。

〔通行止めの期間〕
十月十七日から十二月十五日まで

国道一一六号線 大河津橋の通行禁止

大河津橋の伸縮継手補修工事のため通行禁止になります。

◎十一月一日から十六日まで、毎日二十一時から翌朝五時まで

デルドリン、エンドリンの規制農薬の残留には細心の注意を

農薬取締法の改正により人体の健康を害する農薬については使用規制されていますが、いぜんとして有機塩素系農薬のデルドリン、エンドリンの含有量の高いキュウリ、ばれいしょ等が販売されておりますのでこれらの農薬を以前に使用された土地での作物栽培について充分注意してください。

また、これらの農薬を使用した土地では吸収性のある作物の作付をさけ、深さ四十～五十センチ位の天地返しを行い、農薬の流亡を促進させてください。

"全国農業新聞を購読しませんか"

最近の農政問題は多種多様であり農政事情を詳細に伝達する全国農業新聞を読んで、農業の指針にしょう。

農業者のための教育情報宣伝活動、農業者の地位の向上や、発展に関する事等正確な知識を普及、農業者の立場をあらゆる角度から見つめて掲載してあります。

発行者　全国農業会議所
発行日　毎週金曜日
定　価　一ヶ月一〇〇円（送料共）
判　八面

購読したい方は、岩室村農業委員会へ申込下さい。

飲酒運転はやめよう

みんなで守ろう!

飲酒運転追放一〇〇日運動の実施

十一月十一日～二月十八日

例年、秋から年末、年始にかけて、飲酒運転による交通事故が多発します。

交通三悪のうちでも最も悪質な飲酒運転を未然に防止するため、昨年にひき続き県下いっせいに十一月十一日から飲酒運転追放一〇〇日運動が実施されます。

「ちょっと一杯」と軽い気持ちで飲んだ酒で、とり返しのつかない事故を起こしては大変です。運転に酒はのまない、のませない、……車を運転する人の注意はもちろん、地域ぐるみの協力で飲酒運転を追放しましょう。

◎運動のスローガン
飲酒運転　させない　しない　新潟県

また、十一月に入ると天候も悪くなり、風雨の日が多くなります。自転車乗りの方はコウモリ傘での運転は絶対にやめ、安全な服装で自転車に乗りましょう。

国勢調査の結果速報（概数）

村の人口は8,953人

人口はわずかに減り、世帯数は増加

五年ごとに行なわれる国勢調査も、みなさんのご理解とご協力により無事に終了いたしました。

調査票も県の審査を経て国へ送られました。

今回の調査によると岩室村の人口は八、九五三人（前回九、〇二四人……七一人減）

世帯数は二、一三三世帯（前回二、〇五八世帯……七五世帯増）

となり、人口の減少率は小さくなり、世帯数は逆に増加の傾向にあり小数家族が増えていることがわかります。

なお、正式な結果は総理府統計局でコンピューター集計され、来年春頃から順次公表されることになっています。

人口のうつりかわり

	男	女	計	増減	増減率	当世帯人員
						一人
昭和35年	4,735人	5,516人	10,251人	人	%	5.0
昭和40年	4,436	5,101	9,537	−714	−7.0	4.6
昭和45年	4,152	4,872	9,024	−513	−5.4	4.3
昭和50年	4,198	4,755	8,953	−71	−0.8	4.1

世帯のうつりかわり

	世帯数	増減	増減率
昭和35年	2,047		%
昭和40年	2,033	−14	−0.7
昭和45年	2,058	+25	+1.2
昭和50年	2,133	+75	+3.6

農業共済

今年の水稲損害評価から 共済減収量二、六七二キロ

ことしの稲作の概況は、地域によって多少の差異はあったものの、七月に入ってからの好天に恵まれ穂数、粒数、登熟も順調に進みました。

北陸農政局新潟統計情報事務所が十月三日発表した九月十五日現在の作柄概況調査結果によると一〇アール当たり収量は、五二五キロ、作況指数は一〇九の「良」で、これまでの最高だった昭和四十三年の五一八キロを七キロも上回る史上最高の作柄となりました。

農業地域別の作柄は中越が作況指数一一三で最高次いで下越一一二、佐渡一〇七、魚沼と上越は一〇五でその地域差が大きくなっています。

大豊作の要因としては中越、下越の作期が早く生育量が大きかったことや、作柄の良い機械植えの面積が多いこと、多収性品種の作付けが多いこと、肥培管理が適切だったことなどがあげられます。

今年の岩室村の主な災害はイモチ病でした。

一回目（八月二十五日）の損害評価野帳全筆が北陸九十五号で穂首イモチでした。

新しい品種に対する農家のとりくみ方が、あらためて問題になりました。

（昭和五十年度水稲作付品種は五十余品種です）

村では前後三回にわたり損害評価を実施いたしました。当初評価は次のとうりです。

	筆数	被害面積	共済減収量
第1回評価	17	133.2a	1,600kg
第2回評価	4	36.1	219
第3回評価	8	68.4	853
合　計	29	237.7	2,672

今月の納税

村県民税　第三期
国民健康保険税　第三期

納期は十一月十六日から十二月一日まで

税金を、区長取まとめ、金融機関引落し以外の本人が直接納税されている方には、村県民税の納付書は、第一期の六月に一年分がお手許にとどいています。

国民健康保険税は、十一月二十日頃までに、納付書がお手許にとどけられます。

とどけられた国民健康保険税だけでなく、村県民税の納付書を確かめて、お忘れなく納税願います。

納付書を紛失された方は税務課へ申出て下さい。